

地域に根ざした施設を目指す

触れ合って

絆の杜

支えあって

第32号 平成23年12月1日

発行所

社会福祉法人 光道園

鯖江 福井県鯖江市和田町9
TEL (0778) 62 - 1234 (代)
FAX (0778) 62 - 0890

朝日 福井県丹生郡越前町朝日22
TEL (0778) 34 - 1220 (代)
FAX (0778) 34 - 2099



第一光が丘ハウスチームは、平成23年10月19日、福井県老人福祉施設協議会の第29回親善ゲートボール大会において日頃の練習成果を如何なく発揮し準優勝しました!

主な内容

朝日事業所所長 挨拶 P2

障害者新法「障害者総合福祉法(仮称)」制定をめざして・P3

NNホールで合宿 P4

新穂高温泉一泊旅行～お天気談～ P5

長寿祝賀会 P6

日帰り温泉旅行に行ってきました!!・P7

主役は介助される人 P8

「楽しかったの」「また行きたいなあ～」・P9

ボランティアとの絆シリーズ⑦ P10

クッキー工房 フ・クレール P11

新任職員紹介 P11

開運干支「夢辰」 陶華星 P12



『制度内事業体と心』

朝日事業所 所長 吉田 龍雄

平成二十三年四月より朝日事業所長を拝命しましたが、もとより浅学非才の身、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

私ごとで恐縮ですが、私はこの朝日事業所の近くに生まれ育ち、今現在も住んでいます。

今から遡ること約四十年前、私は近くの高校を卒業する頃でした。一台のブルドーザーが雑木林の山を切り開き始めたのを鮮明に覚えています。当時バス一台がやっと通れるような狭い砂利道だった県道が朝日観音福通寺から常盤地区の入り口であった金谷集落に続いていて、この間に建物一つも無かったように記憶しています。この道の途中での出来事でした。現在の植物園やその横に広がる新興住宅街の辺りに田んぼが少しある程度で寒々とした風景でした。小学校の頃、家族全員で焚き木拾いに弁当を持参して行き、夕方の帰り道ではリヤカーを牽く手伝いをしたのを覚えています。

このブルドーザーの切り開いた場所が現在の朝日事業所となっています。昭和四十八年養護老人ホーム「第一光が丘ハウス」の開設と共に石ナ山と呼んでいた現在の朝日事業所一帯は単なる雑木林から施設群へと変化しました。周辺には体育館、プール、ホッケーグラウンド、植物園、道の駅などが出来てきました。さらにこの四十年間程の間に当初の建物

の老朽化や個室化の時代の流れと共に改築工事を繰り返したり、鯖江事業所から障害者施設が新たに移動して来たりしています。また当初はなかった通所や訪問あるいは相談事業なども開設して来しました。思えば大きく変わったものです。

さて、福祉事業を展開する事業者を指して『制度内事業体』という言い方をすることがあります。福祉事業は法制度によって規定されています。福祉に關することならどんなことでもやっていいということではありませんし、人としての尊厳を大切にしながら高品質な福祉事業を展開するためには人や設備等に対して一定の基準が設けられるのは当然です。まして現代のように生活や価値の多様化が進み権利意識も高い中にあるのはこれらのニーズに細かく対応するためには様々な規定が必要だと思えます。

直近の福祉事業を規定する要素にもう一つ大きな要因があると思えます。先ほどの法制度によるものを直接的な要因としたら、間接的ですがとても大きな要因です。長引く経済の低迷に追い討ちをかけた東日本大震災後の状況です。震災のことをどうこう言いつもりは全くありません。ただ状況として大変大きな経済的打撃を受けたということ。もともと福祉に迫る予算が無い上に今回の事態です。

『福祉は心』なんて呑気に言っていたのは昔のこ

とです。勿論今もこれからも変わらず福祉事業は人とひとがつながり、かわることが最前線の仕事です。いつも当事者の立場に立ち優しく思うかわりが核心部分ですから『心』は大切にしていきたいと思えます。しかし、何事も同じだと思えますが、先立つものが必要になることも事実です。また、その心を大切にするためにも一定の『ゆとり』のようなものが大切です。

最近、その心のゆとりやバランスを保つために、一定の配慮が必要な職員が見受けられます。その現象は個人に出現しますが、要因には職場の環境にもある場合があります。福祉事業体の最大の財産はそこで働く人たちです。この人たちの『幸せ感や働き甲斐、心身の健康』が無くては何一つできません。同僚や上司と色々な話ができる風通しの良い職場になっているか、困ったときに支えてくれる懐の深さがある職場かどうか、自分の存在が認められ大事にされているという実感を持つ環境か、あるいは『育つ』という環境が用意されているかどうか。全てが職場で解決できるわけではありませんが、以前と比較しても比べものにならないほど福祉の現場にも大きなストレス要因が多くあることを認めざるを得ません。やらなければならぬことは山ほどあります。年々法制度は細かくなくなり休み暇も無く、これといということはありません。そのような中、可能な限り職員にとって働きやすい環境を少しでも整える努力を微力ながら重ねたいと思います。



障害者新法「障害者総合福祉法（仮称）」制定をめざして

光道園障がい者総合福祉部会

（本年、園より委嘱された中・長期構想検討委員会）

国においては、障害者自立支援法にかわる新たな総合福祉法制（「障害者総合福祉法」（仮称））の制定に向け、「障がい者制度改革推進会議総合福祉部会」を設置し、精力的に議論が進められてきました。平成23年9月5日、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会は、前回の部会平成23年8月30日開催）の議論を踏まえ、一部内容を修正し、最終的にとりまとめた「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」を公表しました。

骨格提言では、具体的な法律の中身の在り方、考え方をまとめました。2006年12月に国連が採択した「障害者権利条約」と、2010年1月に国（厚生労働省）と障害者自立支援法違憲訴訟原告らとの間で結ばれた「基本合意文書」をベースとして、自立支援法廃止後の総合福祉法がめざすものとして、1、障害のない市民との平等と公平 2、谷間や空白の解消 3、格差の是正 4、放置できない社会問題の解決 5、本

人のニーズにあった支援サービス6、安定した予算の確保の6つの点をかかげました。

さらに総合福祉法の理念・目的において憲法等に基づく基本的人権の行使を支援することを確認し、支援の対象から排除されることのない障害（者）の範囲をはじめ、障害程度区分の廃止と新たな支給決定の仕組み、利用料負担における応益負担との決別や報酬制度の日額・月額払いの統合案が組み込まれました。今後は、この提言（121ページにも及ぶ詳細な内容）を踏まえて障害者総合福祉法の制定が進められていくこととなります。

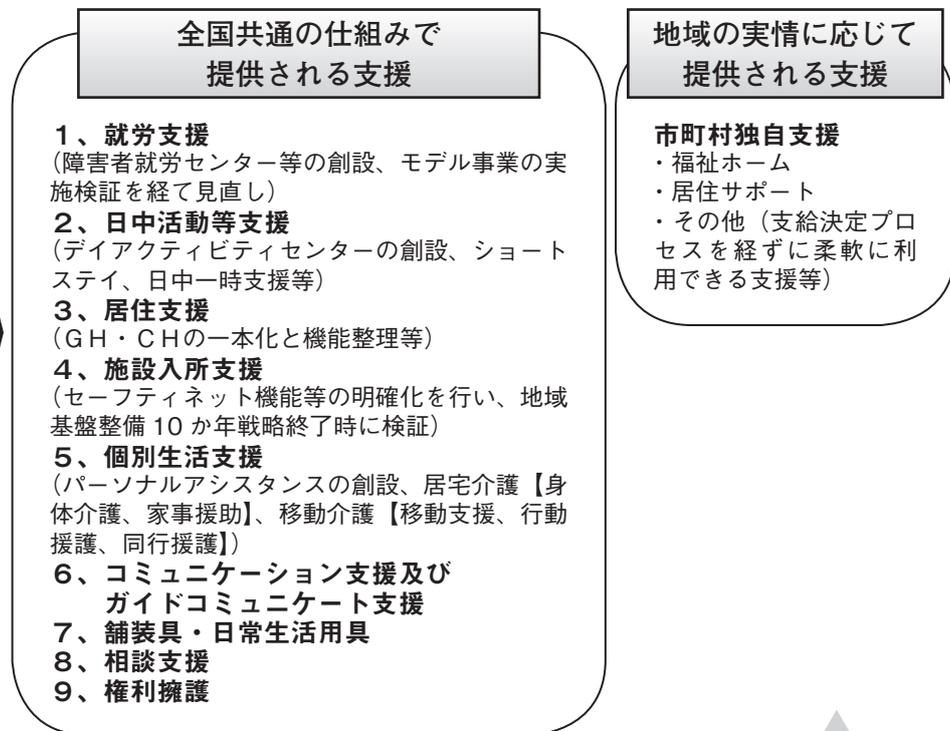
利用者様、ご家族様が一番知りたい支援体系については、下記 図のとおりです。

提言によると、現行のサービス体系は複雑だとして、「全国共通の仕組みで提供される支援」か「地域の実情に応じて提供される支援」かで整理されています。

障害者自立支援法のサービス体系

介護給付	<ul style="list-style-type: none"> ホームヘルプ 重度訪問介護 行動援護 重度障害者等包括支援 児童デイサービス ショートステイ 療養介護 生活介護 施設入所支援 ケアホーム
訓練等給付	<ul style="list-style-type: none"> 自立訓練（機能訓練・生活訓練） 就労移行支援 就労継続支援（A型・B型） グループホーム
地域支援事業生活	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援 地域活動支援センター 福祉ホーム 日中一時支援

障害者総合福祉法における支援体系



障害者総合福祉法の支援体系では、「Nothing about us, without us!」私たち抜きに私たちのことを決めないで! 「障がいのある人が個々に必要な支援を得て社会の対等の一員として位置づけられること（インクルージョン）」といった理念が広く浸透した障害当事者主体（自律・自己決定）のもと、地域生活が可能となるような現実的な支援体系及びこの提言に書いてあるとおりの法律の制定を願っています。

（速報として）

NNホールで合宿

～ 皆で食べよう 一緒に寝よう 美味しい笑顔 ～

ライフトレーニングセンター（療護一課） 加藤 啓子

「今年も合宿しようね」「皆で寝ようね」と、ある利用者が私に言ってきます。合宿とは、キャンプに行きたい…でもそんな体力無いし…夜眠れるか不安…。そんな利用者の声を聴き、一緒に食事を作り、布団を並べ一緒に眠る。キャンプの感覚とは少し違うかも知れないけれど、利用者の願いを叶えてあげたいとの思いで企画された行事です。

合宿場所は光道園のNNホールです。自室から少し離れた場所で体調や情緒不安な時には直に安心できる自室に戻ることが出来ます。

事前に利用者夕食メニューを考え、お好み焼きとたこ焼きに決定。前日に一緒に食材の調達に出かけました。合宿が始まりお好み焼きとたこ焼きの美味しい匂いに誘われていろんな方がNNホールに覗きに來ます。そんな方にはおすそ分けです。賑やかな中、夕食が進み、デザートにはみんなが大好きなフルーツポンチを食べながらカラオケを楽しみました。その後は、早くから布団に入る方、友達と談話している方と様々です。眠る時は職員も利用者の布団の中にもぐり込ませてもらいます。嬉しくてくっついて來る利用者、ちょっと肌寒くなった10月には温かです。寝静まり深夜になると「ゴグーゴグー」と大きないびきの音に目が覚めます。気付くとあの方もこの方も目を覚ましてしまった様子。いびきの張本人は朝までぐっすりと



そして目覚めばっちり、深夜目が覚めてしまった方は朝眠くてなかなか布団から出られません。「今日はまだ起きなくてもいいよ。」朝食ぎりぎりまで布団に入っていた方もいました。朝食を食べてラジオ体操して合宿は終了です。「楽しかった～」と利用者の声を聞くことができ、来年の合宿を今から楽しみにしているようです。

深夜のいびきも合宿の醍醐味です。全室個室となった今、他の利用者とのコミュニケーションの一つですね。

障害や年齢に伴い、やりたいけれど出来なくなっていくことが多くあります。そんな中、利用者の声に耳を傾け、出来ない、行けないでは終わらせないように支援方法を考えていきたいと思ひます。みんなで作ったお好み焼きとたこ焼きはとても美味しかったです。来年も合宿で利用者職員との美味しい笑顔が見られると思ひます。皆さんもNNホールを覗きに來てくださいね。



新穂高温泉一泊旅行 〜お天気談〜

ライトワークセンター（セルプ一課）

橋本 妃富美

晴れ男と晴れ女の参加となった新穂高温泉一泊旅行は、予定通りの晴天に恵まれ、九月一日、元氣に出発しました。参加者のみなさんは今回の新穂高ロープウェイは初めての体験のため、期待も大きく胸弾ませた出発でした。

身元の方や元職員ボランティアの方々和氣あいあい、氣心の知れた会話もハイテンションでした。道中、バスの中は、気分もほぐれカラオケで弾けて時間が経つのも忘れるくらいでした。こんなにもうまいって大丈夫かしらと、逆の心配も心によぎるくらいのスムーズな進行でした。

でも氣温がちょっと暑すぎて、おせんべい焼き体験では汗がとまりませんでした。もう少し氣温が低かったらもっと美味しく感じたのではないかと思います。

皆さんは、お土産のおせんべいを持って新穂高温泉へ向かいました。野趣あふれる露天風呂が待っているはず・・・そうです、野趣あふれる露天風呂と



は、岩がゴツゴツしていて足元が不安定だと聞いていたので、その期待が大きかったのですが、思った

以上のゴツゴツぶりに、ちよつと裏切られた感じもしました。しかし、体験しなければわからない事だから、『これもいい思い出』とみなさんは前向きでした。

その夜の宴はビンゴゲームで盛りあがりました。そして谷川のせせらぎを聞きつつ、明日のロープウェイに期待をしながら「おやすみなさ〜」。

このところ近づいている台風十二号は、静岡県沖から和歌山県沖へと迷走し、ついには四国に上陸しました。

これも晴れ男と晴れ女の實力だと・・・。
二日目の朝は皆さんすっきりさわやかなお目覚めでした。不気味に、周りの木々が風に揺れても、空

を覆う厚い雲も何のその、さあ新穂高ロープウェイへレッツゴー、の予定でしたが、ロープウェイは台風の影響で雨風状態でした。

次々入ってくる情報は、悲観的なことばかりであり、決断は早めに、『利用者の方々へのご迷惑は最小限に』が信条の係の判断は、高山市内の朝市にスケジュールを変更しました。午後はそのままのスケジュールで旅行を楽しみました。判断は正しかったようです。雨も降らず、少々蒸し暑さを感じる高山の朝市では、見た物はすべて美味しそうに見え、一行の楽しみは自然と決まり、ソフトクリームが大盛況でした。おなかもいっぱいになり体験も充分して満足となり、飛騨路を後にしました。

福井に近づくにつれて風雨はひどくなり、文殊山のトンネルを出た時には『これこそ台風だ』といったしゃ降りになっていました。ここに来て晴れ男と晴れ女の運も尽きたかのようでした。でもここでミラクルが、なんとあんなに激しかった雨脚が突然やみ、バスは予定の午後六時ぴったり到着し帰ることができました。『万歳！晴れ男と晴れ女！』でも、これは一体誰の事？とお思いの皆様、そうです、今回、晴れ男と晴れ女を自称した人はなんと参加者全員だったので。やっただね！

次回も私が参加すれば大丈夫と、自信をあふれさせた旅行だったのです。





長寿祝賀会

第一光が丘ハウス（高齢福祉一課） 小玉典子

先日9月6日に平成23年度の長寿祝賀会を本館ホールにて開催しました。今年度も最高齢は108歳のHさんです。故・中道園長の存命の頃より長く光道園に勤められた後入所され一緒に仕事をしていた職員も多くおり、108歳になった今も「おばあ」と声を掛けられるなど親しまれている方です。

その他傘寿、喜寿、米寿など合わせて8名の方のご長寿をお祝いしました。皆様に楽しんでいただこうと、利用者Sさんの大正琴と職員Iさんとのオカリナの合奏を披露したり、職員がマルモリダンスを踊るなどしました。

その後、お一人おひとりの普段の生活されている様子の写真や、仲の良い利用者とのツーショット写真などをスクリーンで紹介しました。自分が映し出されると、紳士に決めていた方が照れくさそうに笑ったり、「私が映っているの？ 恥ずかしい…」と顔を

伏せる方など、照れながらも喜んでいる様子が見られました。特にHさんは「あれ、おばあや！」とびっくりしたり、「おばあ、108歳えらいなあ」と自分を褒めたりと、クルクル表情を変えながら手を叩く姿に会場は一気に癒され笑顔になりました。そんな姿を見て、私は「もっと笑っていただきたい、もっと長生きしていただきたい」と心から思いました。



昼食には、栄養士の心のこもったご馳走を目の前にして、「祝ってもらうことでお腹いっぱい。それだけで満足です。」と言われる方や、「刺身がうまい！」と箸が止まらない方、箸を止めて一生懸命昔話に花を咲かせる方もおられ、それぞれが食事を堪能しておられました。

私は、この長寿祝賀会をとおし「ありがとう」「楽しかった」等の声と弾んだ表情を見せて頂き、祝ってもらうことは何歳になっても嬉しい事であり、そのお祝いの場面と一緒に過ごさせていただき大変幸せでした。来年もこの笑顔を見せて頂けるように頑張ろうという気持ちになりました。これからも皆様が健康で長生きされますことをお祈りいたします。



日帰り温泉旅行に行ってきたよ!!

光が丘ワークセンター(セルプ二課)

梅田 充代

「木のお風呂に入ってきたんや、ごはんも美味しかったし楽しかったわぁー!」

旅行から帰ってきた三日後にも、事務所に来て思い出話に花が咲いていました。

今年、光が丘ワークセンターでは、少人数での旅行を計画しており、希望される方に楽しい時間と思いい出作りを係り中心に計画実行しています。

今回、紹介させていただく旅行は、日帰り温泉の旅です。

日頃、光が丘ワークセンターの中で慌ただしく日々を過ごされている中で、作業を忘れて自分のために時間を使っていたとき、職員といつも出来ない様な話が沢山出来るように計画したゆつたりコースの日帰り旅行です。

旅行に行く利用者とは行き先、日程を皆で決めて、旅



行説明会です。皆の中から、「どんなお風呂かなあ」「どんな料理がでるのかなあ」「何日で行くのかなあ」「天気はどうかかなあ」「何着ていこう」「ワクワク感で胸がいっぱいになるまでひとりひとり説明です。

九月二十九日。いざ出発! 服装チェックいつもより少しおしゃれに、財布の中も確認して、「何を買おうかなあ」「家の人に何を送ろうかなあ」と話しながらジャンボタクシーに乗り込みました。ウキウキで空を飛びそうな勢いで出発していきました。タクシーの中でもいろんな会話が飛び交いみんな笑顔でいつも見せない表情です。

あわら温泉『グランディア芳泉』に着き、仲居さん達からとてもあたたかく迎えていただきました。部屋に案内してもらい、茶を飲み美味しいお菓子を食べ一服。

さあ、みんな楽しみにしていたお料理です。小さなお皿にお刺身、お肉、焼き魚、小煮物他にもデザートもたくさん出てきます。みんな出る言葉は「おいしい」「こんな料理食べた事がないわぁ」と自然に笑顔がこぼれます。ひとりひとりに手を添えて料理の説明、男性利用者の方の嬉しそうな顔「やわかい手やった」なんて喜んでる場面もありました。

次は待ちに待った檜風呂です。木の香りが浴室いっぱいに広がり、源泉がけ流しのつるつるになる温泉水に「いい湯だなー」と自然に歌も出てきまし



た。お肌もつるつるになり、みんな若返ったようでした。身も心もリフレッシュされたようでした。

疲れた様子もなく満面の笑みで戻られた方達から、口々に「よかったわ」「木のお風呂にはいったんや」「ごはんもおいしかったあ」「疲れがとれたわ」等などうれしい感想があふれ喜びいっぱいになりました。もちろん付き添った職員も、楽しんでいただけただけで、喜んでいただけただけで大きな喜びと充実感でいっぱいになりました。

行くまでのワクワク感で一杯になる話し合いを何回も利用者の人たちと持ち、目的地でのドキドキ感、帰ってからのウキウキ、旅行で三度楽しい気持ちを感じるこのことができる係りのサービス、細やかな気配り、次の旅行に連れてってと言っていただけのように計画していきたくと思っています。

主役は介助される人

～福辺流介護術の研修を受講して～

ヘルパーステーションさざんか（地域生活支援課）主任 前田 雅 恵



平成23年2月、ヘルパー対象セミナーで『福辺流 力のいらぬ介助術』の研修に参加しました。

福辺先生は福辺節子介護リハビリテーション研究所代表で、義足の理学療法士です。『自身の障がいで介助がやりにくいと思ったことは一度もない。介助に力はいらない』を持論に全国各地で、介護者セミナーや在宅介護講座などの活動を精力的に展開しておられます。

セミナーでは過去に教えていただいた介護法とは全く違うことに衝撃を受けました。

そこで光道園でもぜひ研修会をとお願いし、平成23年6月は講義中心、7・8月は実技と、3回に渡りご指導いただけることになりました。3回続けて参加でき

る職員約30名が光道園鯖江事業所 NN ホールにて受講しました。

先生の介助術の基本は【介助される人に動いていただく。介助者は介助される人が動けるように援助するだけ】であり、たとえ寝たきりの方にもやっていただけることは必ずある。利用者さんにはもっともっと力がある。利用者さんができないところはどこかを体のパーツごとに観察したり、できない原因はどこにあるかを多方面から考え、その方を深く理解しなければならないとのことでした。

声かけについては、相手に伝わる声かけをし、伝わったかどうかを反応・うなずき・目・表情を見て確認します。動きそのものが言葉以上のコミュニケーションでもあります。声かけが終わってから介助に入ります。「動かしますね」と言ったと同時に利用者さんを動かしては声かけの意味がありません。

丁寧な声かけをするだけでもその方は変わってくるとのことでした。

実技では介助する人もされる人にとっても、無理なく無駄なく動く技術を教わりました。介助される人の残存能力を引き出すのは介護スタッフの役目であり技術であることを学びました。

先生の講義・実技は厳しさの中に優しさが満ちあふれていて受講していて心地良く感じました。しかし実技内容を時間内で習得するのは、正直なところ大変難しかったです。

研修受講後毎回、ヘルパー間で伝達講習会を開きました。自分のものになっていなく、受講者同士補いあいながら伝達し、練習しあったこともありました。

それでも、マスターできたことを在宅介護において実践したところ、利用者さんから「あんたの手引き、歩きやすいわ」と言っていただけました。また満面の笑みのヘルパーから、利用者さんがご自分で移乗されるようになったと嬉しい報告もありました。

福辺先生の介助術の全てをマスターするのはまだまだですが、教えていただいた基本を大切にしながら今後も頑張っていきたいと思っています。



「楽しかったの」「また行きたいなあ」

ライトホープセンター（援護二課）

松島 和子

「気持ちはあの時のまま」



現在、ライトホープセンター1階もえぎ館には64名の方がご利用されています。障害者自立支援法への移行に伴い3障害（身体障害・知的障害・精神的障害）を受け入れることになり、生活全般に支援が必要な方、また、障害が重度で高齢になられている方、認知症を伴っている方など支援内容も多様化してきています。このようななか、昨年より日中活動の支援をもう少し明確にし充実していきたいとの思いから火曜日、木曜日は棟活動を積極的に進めてきました。棟活動の内容を利用者と共に話し合い、「どこかへ行きたい」「美味しい物が食べたい」「何か手伝いたい」など様々な意見が聞かれました。圧倒的に多かった「美味しい物が食べたい」という希望を大切に考え、「グルメ外出」と名前を付け、お好み焼きやラーメン、カニや寿司など希望にそってグル

ープ外出を行なっています。また、「どこかへ行きたい」との希望には、地域をあまり知らないということでライトホープセンターからの坂道を降りた所の越前町内に出かけ、衣料品店での品定め、うどん屋さんで舌鼓、古風な喫茶店でのサンドイッチや美味しいコーヒー、熱中症になるんじゃないかと思われるような天候の中、気持ちもすごく熱くなりいろんな話に花が咲きました。出かけられた利用者の方から「出かけられてうれしかった」「こんな素敵な



ーキングや遊具遊び、陶芸村での粘土作品づくり、体験施設（エンゼルランド、パン作り）へのドライブなどに出かけています。また屋内での活動もゲーム大会（紙相撲、ボーリング、玉送り、ボールリレー、玉入れ）は運動会のように白熱して楽しんでいます。身体を動かす事はもちろん、手作りおやつ会や食事会、創作活動とメニューを考えて組むのが大変なくらい活動する時間が増えてきています。また自分達の生活の場を自分達のできる範囲で清潔にする取り組みも進めています。

まだまた利用者の方々の希望と満足を満たすことは出来ませんが、今後も「今日は楽しかったの」「また行きたいなあ」と言ってもらえるように、身体を動かす楽しみを見つけていきたいと思っています。



所があったんや」「この企画、斬新なアイディアやな」等と初めて知った地域にそれはもう感動していました。これをきっかけに、花見、味覚狩り、健康の森でのウォ





ボランティアとの絆シリーズ⑦

障害者のお世話を誇りに!!

越前市 大久保 和保

「こんにちは」「おはよう」から始まる今日一日の光道園入居者の方々とおつきあいは、過去約12年間、光道園の催しものの数々の中で、ある時は文化祭、ある時は夕涼み会、ある時は朝日創立記念模擬店と数多くの催しものに参加させていただきました。

個人的なおつきあいも数々ありました。特に文化祭には、身体の不自由な入居者の皆さんがハンディをのりこえて、この日のために精一杯背伸びして丹精こめて自分の作品を職員の方々のご支援のもとに作成し、東陽中学校の生徒さん始め、大勢の方々に見ていただいたことに大変意義があり、私にとってどれほど幸福感に満ちて嬉しかったことか痛感いたしました。学級活動の一環として文化祭に参加された東陽中学校の先生方にも感謝いたし、生徒さんにとっても参加されたことで「人と人のふれ合い」の尊さ・大切さを心ゆくまで実感されたと信じています。写真班として参加させていただいた私はさっそく後日学校に出向きお礼と出来るだけの写真をさし上げ、また一つ、コミュニケーションの場をもてたことの満足感を味わって学校を後にしました。

またある時は不自由な身体をかばっての体育会の思い出、仲良く参加させていただき共に汗を流して競技に熱中したこと、数しれない思い出がよみがえってきます。

私は人生を歩む中で「人と人のふれ合い」ほど大切なことは無いと信じ自分に言い聞かせています。光道園園長様はじめ職員の皆様との心のふれ合い、入居者一人ひとりの方々とのふれ合い、どれもこれも大切なものばかりです。ボランティアとして活動ができる自分の人生に生きがいを感じ、いやされる自分に「倅」(さいわい)を求めております。苦しい環境の中でもすくすくと明るい人生を送っておられる入居者の一人ひとりの皆様に大きな賞賛の拍手を贈りたいです。

そして日頃、業務とはいえ自立支援・生活支援等を見守っておられる課長さんをはじめ職員の方々に日頃の感謝の気持ちは決して忘れることはないと信じております。また入居者の皆様のために毎年すばらしい行事を計画実行されボランティア活動の中でも、尊い経験が活かされることに改めて感謝いたし、一年も長く、一日でも長くボランティア活動に参加できることを念じて頑張っています。

最後に「社会福祉法人 光道園」の益々のご繁栄をご祈願申し上げペンをおきます。

大久保様の手作りの色紙を各課にいただきました。



Merry Christmas

シュトーレンの食べ方

ドイツでは約1センチほどに切って毎日一切れずつ食べます。焼き上げて2~3日はサクッと出来たてのフレッシュな味が楽しめます。そして日がたつにつれ素材がしっとり調和し、味の重厚感が変化していくのを感じながら味わえます！



クッキーのご注文もお待ちいたしております



850g **1,300**円(税込)

丹生郡越前町朝日 22-2-2
光道園 光が丘ワークセンター
フ・クレール

電話 0778 - 34 - 2121
FAX 0778 - 34 - 8005



★森 友子

- ①O型
- ②サッカー観戦
- ③『八日目の蝉』角田光代著

高齡福祉一課

朝日事業所

★多田 清美

- ①A型
- ②あまり表情のない娘を笑わせること。
- ③『野村ノート』野村克也著

療護一課

★宮下 希

- ①O型
- ②サッカー
- ③『白夜行』東野圭吾著

療護一課

鯖江事業所

- ★氏名 ①血液型 ②趣味
- ③印象的な本

新任職員の紹介

平成二十三年七月~十月採用

開運干支

「^た夢^っ辰」

一年の幸せを祈願いたします。

のぞみ工房 陶華星



A. 3,500円



B. 500円



C. 500円

のぞみ工房 **陶華星**

〒916-8585 鯖江市和田町 9-1-1

光道園ライトワークセンター内「陶華星」

TEL : 0778-62-8103

FAX : 0778-62-3775

社会福祉法人 光道園の施設		養護老人ホーム・第一光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
社会福祉法人 光道園 法人本部	鯖江市和田町 9-1-1	養護(盲)老人ホーム・第二光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトワークセンター	鯖江市和田町 9-1-1	特別養護老人ホーム・第三光が丘ハウス	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・光が丘ワークセンター	丹生郡越前町朝日 22-2-2	通所介護事業所・デイサービスセンター・さざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライトホープセンター	丹生郡越前町朝日 22-3-1	訪問介護事業所・ヘルパーステーションさざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
障害者支援施設・ライフレニングセンター	鯖江市和田町 9-1-1	居宅介護支援事業所・さざんかホール	丹生郡越前町朝日 22-7-1
日中生活介護事業・たねのいえ	鯖江市和田町 9-1-1	越前町障害者支援センター・さざんか	丹生郡越前町朝日 22-7-1
		障害者支援センター・こうどうえん	鯖江市和田町 9-1-1